



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月29日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 柿本 敏男
 (氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	50,938	1.8	649	△45.1	1,061	△28.6	662	△18.4
27年3月期第1四半期	50,025	6.5	1,182	—	1,486	—	811	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △357百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 149百万円 (△93.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.29	—
27年3月期第1四半期	4.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	250,922	153,924	51.2
27年3月期	264,438	158,404	49.9

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 128,375百万円 27年3月期 131,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	10.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	105,500	4.3	2,900	△11.5	3,100	△9.6	1,500	△18.0	7.45
通期	230,000	4.8	11,300	1.8	12,000	1.5	6,400	12.2	31.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	217,699,743 株	27年3月期	217,699,743 株
28年3月期1Q	16,474,219 株	27年3月期	16,474,061 株
28年3月期1Q	201,225,603 株	27年3月期1Q	201,230,699 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

○ 第1四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出関連企業を中心とした企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかに回復を続けております。

一方、海外においては米国では景気回復基調が続いておりますが、中国での景気減速の懸念やギリシャ債務問題を抱える欧州など、世界景気は先行きが不透明な状態です。

このような経済状況のもとで、当社グループは、長期経営ビジョン「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の達成に向けた第2ステップとしての「TaKaRaグループ中期経営計画2016」のもと、更なるグループ企業価値の向上を目指し、国内では収益力の向上、海外では事業の拡大・伸長に取り組むとともに、バイオ事業の成長加速により、環境変化に強いバランスのとれた事業構造に変革していくことを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高50,938百万円（前年同期比101.8%）、売上総利益19,615百万円（前年同期比103.3%）、営業利益649百万円（前年同期比54.9%）、経常利益1,061百万円（前年同期比71.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益662百万円（前年同期比81.6%）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

[宝酒造グループ]

当四半期の売上高は、酒類では、清酒は“松竹梅「天」”を中心に好調に推移し、海外でもTAKARA SAKE USA INC.（米国）が好調であったため増加いたしました。ソフトアルコール飲料では6月に“TaKaRa 果汁入り糖質ゼロチューハイ「ゼロ仕立て」”を新発売し、引き続き“TaKaRa 「焼酎ハイボール」”も好調に推移しましたので増加いたしました。

しかしながら、焼酎は甲類焼酎、本格焼酎ともに減少しましたので、その他酒類も含めた酒類全体は減少いたしました。

調味料ではみりんや料理用清酒が増加し、原料用アルコール等や物流も増加いたしました。

また、海外日本食材卸では、FOODEX S. A. S.（仏国）やCOMINPORT DISTRIBUCIÓN S. L.（スペイン）が引き続き好調に推移しましたので増加いたしました。

以上の結果、宝酒造グループ全体の売上高は、44,231百万円（前年同期比99.7%）となりました。売上原価は、売上高の減少にともない28,466百万円（前年同期比99.5%）となりましたので、売上総利益は、15,764百万円（前年同期比100.1%）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費の増加などにより15,384百万円（前年同期比103.1%）と増加しましたので、営業利益は、380百万円（前年同期比45.8%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当四半期の売上高は、主力の研究用試薬が前年同期を上回ったほか、円安の影響もあり、5,761百万円（前年同期比120.5%）となりました。売上原価は、売上高の増加にともない2,439百万円（前年同期比120.4%）となりましたので、売上総利益は、3,322百万円（前年同期比120.6%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や人件費等の増加により3,210百万円（前年同期比119.4%）と増加しましたものの、営業利益は、111百万円（前年同期比170.8%）となりました。

[宝ヘルスケア]

当四半期の売上高は、フコイダン関連製品や化粧品OEMが引き続き増加しましたので、478百万円（前年同期比124.0%）となりました。売上原価は、売上高の増加にともない241百万円（前年同期比128.2%）となりましたので、売上総利益は、236百万円（前年同期比120.0%）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費の増加などにより234百万円（前年同期比124.6%）と増加しましたので、営業利益は、2百万円（前年同期比26.7%）となりました。

[その他]

当四半期の売上高は、1,286百万円（前年同期比95.8%）、売上原価は、1,138百万円（前年同期比97.0%）となりましたので、売上総利益は、148百万円（前年同期比87.4%）となりました。販売費及び一般管理費は、169百万円（前年同期比98.0%）と減少しましたが、20百万円の営業損失（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称		前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	前年同期比
	品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造グループ				
	焼酎	16,609	14,323	86.2
	清酒	4,238	4,503	106.3
	ソフトアルコール飲料	6,403	6,876	107.4
	その他酒類	3,239	3,173	98.0
	酒類計	30,491	28,877	94.7
	本みりん	3,097	3,332	107.6
	その他調味料	2,014	2,103	104.4
	調味料計	5,111	5,435	106.3
	原料用アルコール等	1,588	1,902	119.8
	物流	2,731	3,012	110.3
	海外日本食材卸	4,032	4,646	115.2
	その他	415	357	86.1
	計	44,370	44,231	99.7
タカラバイオグループ		4,779	5,761	120.5
宝ヘルスケア		385	478	124.0
その他		1,342	1,286	95.8
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去		△852	△818	—
合計		50,025	50,938	101.8

(注) 1. 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

2. 当第1四半期連結会計期間よりセグメントの区分の変更を行っており、前第1四半期連結累計期間の販売実績は、変更後のセグメントの区分に基づき作成したものを表示しております。

なお、セグメントの区分の変更につきましては、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13,516百万円減少し、250,922百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ13,016百万円減少し、147,636百万円となりました。これは主に有価証券が11,441百万円、受取手形及び売掛金が3,394百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ500百万円減少し、103,285百万円となりました。これは主に有形固定資産が852百万円、無形固定資産が948百万円それぞれ減少し、投資有価証券が1,489百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ9,036百万円減少し、96,997百万円となりました。このうち流動負債は前連結会計年度末に比べ9,030百万円減少し、45,847百万円となりました。これは主に1年内償還予定の社債が5,000百万円、支払手形及び買掛金が1,732百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、51,150百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,479百万円減少し、153,924百万円となりました。これは主に資本剰余金が1,316百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益662百万円の計上及び剰余金の配当2,012百万円により利益剰余金が1,349百万円、為替換算調整勘定が1,827百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、期初の計画を上回って進捗しております。しかしながら、当社グループの第1四半期利益の年間利益に占める割合が比較的低いことなどから、平成27年5月8日に公表した平成28年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間、通期ともに見直しを行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円減少しております。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が1,316百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,296	40,836
受取手形及び売掛金	54,617	51,223
有価証券	27,022	15,581
商品及び製品	28,524	29,440
仕掛品	958	1,082
原材料及び貯蔵品	3,317	3,093
その他	5,148	6,587
貸倒引当金	△233	△207
流動資産合計	160,653	147,636
固定資産		
有形固定資産	53,085	52,232
無形固定資産		
のれん	8,071	7,319
その他	4,286	4,090
無形固定資産合計	12,358	11,410
投資その他の資産		
投資有価証券	32,900	34,389
その他	5,608	5,419
貸倒引当金	△166	△166
投資その他の資産合計	38,342	39,642
固定資産合計	103,785	103,285
資産合計	264,438	250,922
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,680	13,948
短期借入金	5,292	5,364
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払酒税	7,615	7,838
未払費用	5,456	4,312
未払法人税等	2,107	986
賞与引当金	2,162	3,363
その他の引当金	1,868	2,036
その他	9,695	7,996
流動負債合計	54,877	45,847
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	10,334	10,348
退職給付に係る負債	8,407	8,465
長期預り金	5,622	5,528
その他	6,792	6,808
固定負債合計	51,156	51,150
負債合計	106,034	96,997

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,196	1,879
利益剰余金	108,647	107,297
自己株式	△9,937	△9,937
株主資本合計	115,132	112,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,098	10,091
繰延ヘッジ損益	558	526
為替換算調整勘定	7,431	5,603
退職給付に係る調整累計額	△297	△311
その他の包括利益累計額合計	16,791	15,909
非支配株主持分	26,481	25,549
純資産合計	158,404	153,924
負債純資産合計	264,438	250,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	50,025	50,938
売上原価	31,031	31,323
売上総利益	18,994	19,615
販売費及び一般管理費	17,811	18,966
営業利益	1,182	649
営業外収益		
受取配当金	221	231
その他	249	337
営業外収益合計	470	569
営業外費用		
支払利息	121	115
その他	46	41
営業外費用合計	167	156
経常利益	1,486	1,061
特別利益		
投資有価証券売却益	—	260
その他	4	4
特別利益合計	4	264
特別損失		
投資有価証券評価損	—	23
固定資産除売却損	37	12
役員退職慰労金	34	—
その他	7	—
特別損失合計	79	36
税金等調整前四半期純利益	1,411	1,289
法人税、住民税及び事業税	920	1,224
法人税等調整額	△395	△667
法人税等合計	524	556
四半期純利益	886	732
非支配株主に帰属する四半期純利益	75	70
親会社株主に帰属する四半期純利益	811	662

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	886	732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	637	992
繰延ヘッジ損益	△94	△32
為替換算調整勘定	△1,181	△2,032
退職給付に係る調整額	△46	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△51	△4
その他の包括利益合計	△737	△1,090
四半期包括利益	149	△357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361	△219
非支配株主に係る四半期包括利益	△212	△138

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

<変更後の区分方法により作成した前第1四半期連結累計期間の情報を記載>

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	44,287	4,635	385	49,308	605	49,913	111	50,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	82	143	0	226	737	963	△963	—
計	44,370	4,779	385	49,535	1,342	50,877	△852	50,025
セグメント利益又は損 失(△)	830	65	9	905	△2	902	280	1,182

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益等であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)は、セグメント間取引消去65百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益215百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	44,170	5,565	477	50,212	610	50,823	115	50,938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61	196	0	258	675	934	△934	—
計	44,231	5,761	478	50,471	1,286	51,757	△818	50,938
セグメント利益又は損 失(△)	380	111	2	494	△20	473	175	649

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益等であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)は、セグメント間取引消去55百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益119百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

当社は平成27年4月1日付で連結子会社である宝ネットワークシステム株式会社を吸収合併いたしました。これに伴い、前連結会計年度まで「その他」の区分に含まれておりました宝ネットワークシステム株式会社の事業は当第1四半期連結会計期間より「調整額」に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」につきましては、当該変更後の金額に組替えて表示しております。

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、「宝酒造グループ」で4百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。